公営企業の抜本的な改革の取組状況（令和5年3月31日時点）

団体名	業種名	事業名	施設名
茅ヶ崎市	病院事業	―	―

実施状況

抜本的な改革の取組							現行の経営体制を継続
事業廃止	民営化・民間譲渡	地方独立行政法人への移行	広域化等	民間活用			
				指定管理者制度	包括的民間委託	PPP/PFI方式の活用	
							●

現行の経営体制・手法を継続する理由、今後の方向性

抜本的な改革に取り組まず、現行の経営体制・手法を継続する理由及び現在の経営状況・経営戦略等における中長期的な将来見通しを踏まえた、今後の経営改革の方向性

平成28年度以降の急激な経営状況の悪化を受け、具体的な経営改革に向けた取組等を定めたロードマップを令和元年9月に策定し、①安定した経営環境の確保に向けた収支改善策の速やかな実行及び一般会計からの適正な経費負担、②数年先を見据えて、市民に必要な医療サービスの提供と将来にわたる体制の整備の実現を目指した経営形態の変更といった組織改革の検討という2つの側面から改善を進めてきた。

上記取組の一環として、経営形態の変更を含めた組織改革の検討を実施しており、令和3年1月に市民や有識者等12名の委員から構成される附属機関を設置のうえ、茅ヶ崎市立病院の経営形態の在り方について議論を重ねた結果、令和3年8月には『「地方公営企業法全部適用」に移行することが現時点で最適である』との答申がなされたことから、令和5年度より地方公営企業法の全部適用へと移行することとしている。

公営企業の抜本的な改革の取組状況（令和5年3月31日時点）

団体名	業種名	事業名	施設名
茅ヶ崎市	下水道事業	公共下水道	―

実施状況

抜本的な改革の取組							現行の経営体制を継続
事業廃止	民営化・民間譲渡	地方独立行政法人への移行	広域化等	民間活用			
				指定管理者制度	包括的民間委託	PPP/PFI方式の活用	
							●

現行の経営体制・手法を継続する理由、今後の方向性

抜本的な改革に取り組まず、現行の経営体制・手法を継続する理由及び現在の経営状況・経営戦略等における中長期的な将来見通しを踏まえた、今後の経営改革の方向性

当事業においては、流域関連公共下水道であり、現在地方公営企業の一部適用での運営を行っております。経営戦略策定後のモニタリングの結果、当面は純利益の計上も見込まれており、現行の体制で問題ないと考えています。

公営企業の抜本的な改革の取組状況（令和5年3月31日時点）

団体名	業種名	事業名	施設名
茅ヶ崎市	介護サービス事業	老人デイサービスセンター	松林ケアセンター、元町ケアセンター、萩園ケアセンター

実施状況

抜本的な改革の取組							現行の経営体制を継続
事業廃止	民営化・民間譲渡	地方独立行政法人への移行	広域化等	民間活用			
				指定管理者制度	包括的民間委託	PPP/PFI方式の活用	
				●			

抜本的な改革の取組状況

取組事項	民間活用（指定管理者制度）

実施済	●
実施予定	

（取組の概要）

【きっかけ】平成15年に地方自治法に指定管理制度が導入されたことにより、平成17年4月1日から指定管理制度を開始した。
【取組概要】①介護サービス（通所介護事業及び第1号通所事業（国基準通所型サービスと通所型サービスA）、介護方法の指導、生活等に関する相談及び助言）②自主事業③施設の管理運営

（方式）

代行制	利用料金制
	●

（実施（予定）時期）

平成		
17	4	1
年	月	日

（取組の効果額）

0.3 百万円(年)

（取組の効果額内訳）

①委託料(フロン)　年▲82,500円
②委託料（維持管理）　年▲234,300円
③建物使用料　年583,711円
④土地使用料　年62,926円
⑤太陽光発電売電収入　年2,411円
計　年332,248円

検討中	

（取組の概要）

（検討状況・課題）